

## 研究倫理に関する学習・教育目標等一覧（概要）（令和元年度（平成31年度）～）

（注）学習方法は、平成31年度から実施できるように各系等や各科目担当の組織内で検討する。なお、学習方法の例示すべてを行うことを求めるものではなく、学生個々による。

項目	1. 学術における誠実性	2. 研究者の役割と社会的責任	3. 責任ある研究活動	4. 法令の遵守	
主たる概要	学術・研究における誠実性（Academic Integrity）について理解し、持つべき姿勢・態度等を共有する ・東工大生としての自覚を持つこと ・研究者としての姿勢・態度等を持つこと ・「東京工業大学における研究者等の行動規範」の理念の理解と重視すべき価値の共有 など	研究者が担う役割と社会的責任を理解し、持つべき姿勢・態度等を共有する ・研究者は社会の責任あるメンバーであるとの意識 ・学術・研究における今日的倫理問題の理解 ・科学技術の環境及び社会に与える影響の理解 など	責任ある研究活動（RCR: Responsible Conduct of Research）（以下RCRとする）の概念とその重要性を理解し、実践する ・研究の自由と守るべきものへの理解 ・正しいデータの扱い ・オーサーシップの理解 など	責任ある研究活動を実践する上での規則やポリシーに関する知識を持ち、これらを遵守する ・国や大学が定める研究に関する諸規則・ポリシー ・研究不正への対応に関する規則 ・研究費の適切な利用 など	
学習・教育目標	【レベル3】 博士後期課程	あらゆる専門分野に共通の事項の理解、各専門分野で必要な事項の理解をさらに深め、可能な範囲で、周囲に指導できる・適切な研究環境を構築できる			
	【レベル2】 学士特定課題 研究開始後～ 修士課程	あらゆる専門分野に共通の事項を理解を深め、また、研究を実施しながら、各専門分野で必要とする事項の理解を深める。 （例）研究環境の安全への配慮、インフォームド・コンセント、個人情報保護の保護、ラボノートの記載やデータの取扱い、守秘義務、オーサーシップ、発表方法（二重投稿・二重出版等の禁止）、著作権の保護、研究費の使用			
	【レベル1】 学士特定課題 研究開始前	本格的な研究を開始する前に、あらゆる専門分野に共通の基本的な事項を理解する。（＋ 各専門分野で必要とする基本的な事項の理解） （例）学術・研究における誠実性に基づく姿勢・態度（カンニングをしない、同一レポートを使いまわさない、他者が作成した物を自分が作成したことにならない等）、倫理的な意思決定の方法（セブン・ステップ・ガイド等）、科学技術と社会との関係（社会に与える影響等）、倫理問題のケーススタディ、レポートの書き方、引用のやり方、研究ノートの作法、データ（※）の収集・管理・処理、特定不正行為に関する知識（ねつ造、改ざん、盗用）、規則やポリシー等の存在 （※）データ：理性的な推論のために使われる、事実に基づくあらゆる種類の情報（「科学の健全な発展のために」日本学術振興会）			
学習方法 （例示）	【授業科目】倫理を冠した科目。なお、授業の一部で取り上げるケースもある（詳細は各授業科目のシラバスを参照） 【ガイダンス】ガイダンスやオリエンテーション、研究倫理講習会など 【オンライン】eAPRIN東工大基本コース（e-Learning）（6時間。1単元おおよそ20～30分程度。）、eAPRIN JSTコース（理工系（e-Learning）（5時間。1単元おおよそ20～30分程度。）、SPOC（6時間）、日本学術振興会 研究倫理eラーニングコース eI_CoRE（90分） 【その他】研究室活動、科学技術振興機構「研究倫理教育用の映像教材『THE LAB』」、諸規程・ガイドライン、本学HP（在学生向け 研究倫理に関するページ）、あらゆる機会に（Ethics at every opportunity.）				
確認方法	各レベルに応じたチェックリストを実施。（毎年確認、最低年1回）				

《研究倫理に関する学習の例示》

レベル1：「東工大立志プロジェクト」の履修（B1）、「系所属後のオリエンテーション」で話題提供（B2）、「教養卒論」の履修（B3）、各科目で話題提供、SPOC等による自主学習

レベル2：研究室内で「映像教材『THE LAB』」を用いたディスカッションの実施、様々な科目で話題提供、eAPRINによる自主学習、「コースのオリエンテーション」で話題提供（M1）

レベル3：レベル2に加えて、研究室内で「映像教材『THE LAB』」を用いたディスカッションの実施（他の学生をリードする。）、適切な研究環境を構築する。

※この一覧は、開始初年度（令和元年度）での内容になります。今後、学習・教育を進めながら、より良くするための改善を毎年行っていく予定です。